

平成 26 年度 厚生労働科学研究費に係る利益相反についての情報開示

川崎医科大学 利益相反委員会

平成 27 年 2 月 26 日

研究課題名：小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究

研究分担者：消化管内科学 教授 春間 賢

川崎医科大学 消化管内科学教室では「産学連携活動に係る受け入れ額」として複数の企業からの奨学寄附金があるが、これらは当学園にて受け入れ、管理されている。また、研究分担者本人において、企業・団体からの報酬・謝礼・原稿料等の個人的収入の受け入れがある。本研究の利害関係については「川崎医科大学利益相反マネジメントポリシー」にそって「川崎医科大学利益相反委員会」へ申告して審査を行い、適正に管理されている。この研究に係る利益相反についての情報を開示するために、平成 25 年度における奨学寄附金の提供団体および個人的収入の提供団体を以下に示す。

企業名：アストラゼネカ株式会社、杏林製薬株式会社、ゼリア新薬工業株式会社、  
アステラス製薬株式会社、株式会社ツムラ、武田薬品工業株式会社、  
第一三共株式会社、大塚製薬株式会社、Japan Gut Club、エーザイ株式会社、  
田辺三菱製薬株式会社、味の素製薬株式会社